

移動スーパー事業開始

介護サービス業のアール・ケア（玉野市東高崎）は、食料品スーパー経営の玉屋（同市宇野）の協力で移動スーパー事業を始めた。玉野市を中心に巡回し、高齢者らの買い物を支援する。

グループ企業で在宅介護サービスなど手掛けるアール・ケア・クルーズが運営し、軽トラックを改造した冷蔵庫付き移動販売車を使用。玉屋で仕入れた総菜、野菜、洗剤、トイレトーパーなど食品、日用品約400品目・1000点を積み込み、サービス付き高齢者向け住宅やデイサービス拠点、依頼があった住宅地などに出向く。

現在は車両1台で、高齢化が進みスーパーが少ない玉野市南西部を主に巡っているが、将来的には台数を増やし、



軽トラックで食品や日用品を販売するアール・ケアの移動スーパー

玉野市内全域でのサービス提供を目指す。事業責任者の小馬誠士アール・ケア取締役は「日々の買い物に不便を感じている高齢者は多い。生活を支援するとともに見守り活動にも取り組みたい」と話している。

地域への訪問依頼など問い合わせはアール・ケア・クルーズ（086-233-3331）。（角南邦彦）